

つなぐ

はじめ がんばり 思いやり

笑顔あふれる 戸祭の子

学校だより 7月号 R7. 7. 9

宇都宮市立戸祭小学校長 松浦 好尚



ホームページ QRコード

つ・な・ぐ 「ビッグファミリー戸祭」(▽)/～地域の皆様と共に～(▽▽)

6月28日(土) ビッグファミリー戸祭のつながりをめざし自治連合会の定例会に参加しました。(写真⇒)

「つながる学校、つながる地域」をめざし「社会に開かれた学校」を実現します。

自治会長様をはじめ、地域の皆様、よろしくお願いいたします m(_)_m
みなさんで「一枚岩」となり、「ビッグファミリー戸祭」の実現を目指していきましょう (o^ー^o)ニコ



未来へ 一歩 踏み出す きっかけを! 「こども宇宙プロジェクト」

この度「第12回こども宇宙プロジェクト」へ参加するにあたり、概要をお伝えいたします。

このプロジェクトは、本校100周年記念の際、航空写真撮影を担当した事業所からの提案でした。過去11回の実績から、来年秋以降にアメリカフロリダ州のケネディ宇宙センターから物資輸送のため宇宙ステーションに飛び立つロケットに子どもたちの写真を載せるという計画です。自分が写った写真が宇宙ステーション内で開かれる様子を映像で確認することができます。あたかも、写真の自分が宇宙飛行士になったかのような夢のある企画です。戸祭小の子どもたちにぜひ体験してもらいたいと思い、提案を受けました。

今回の計画では、全国150校、児童2万人の参加を目指しています。年内に学級写真と全校写真を撮影し、来年4月に「モザイクアート」にした写真をネット上で確認することが可能となっています。その後、準備期間を経て、来年の秋以降に子どもたちの夢を載せたロケットがケネディ宇宙センターから飛び立ちます。以下に今回の主催者からのメッセージを載せました。どうぞご覧ください(o^ー^o)ニコ

―抜粋―

今、宇宙へ行くことはほんの一握りの人にしか経験できない特別な冒険。

日本からはこれまで12人の宇宙飛行士が宇宙へ向かい様々なミッションを達成してきました。

でも、彼らのほとんどは子どものころから宇宙飛行士の訓練をしてきたわけではないのです。

「自分がどんな未来を創りたいのか」「どんなことにも挑戦したい」と考え行動し、たくさんのことに興味をもった子どもだったのです。

「こども宇宙プロジェクト」は、すべての子どもたちが未来と挑戦へ一歩踏み出すきっかけとしてそして12人の飛行士が見た宇宙の景色を次に見る13人目の宇宙飛行士が誕生することを願う12回目の宇宙飛行にご案内します。

おまけ

6月8日と7月6日の二日間にわたって開催された市P連ソフトボール大会の結果、見事準優勝となりました。(惜しくも優勝を逃して悔しいのですが、猛暑の中、お父さんたちのナイスプレー! そして、ナイスゲームでした(▽▽)/)。体育部の皆様にも感謝 m(_)_m
校長室前に賞状を飾りましたので、ご来校の際はぜひご覧ください。

その上の画像も見てね (o^ー^o)ニコ

